

Bike to Work



タイムライダー

のすすめ

BIKE TO WORK ?

自転車通勤を英語にすると「BIKE TO WORK / バイクツーワーク」と呼ばれ、世界中で様々なアクションが行なわれています。

バイシクルエコロジージャパン(以下 B.E.J)は、自転車で行こう！という呼びかけ、応援アクションを行なっています。

B.E.J.が行なう「バイクツーワーク」は、自転車通勤者を応援するアクションとして、飲物や軽食、バナナなどを無料で配布し、簡単な自転車点検(地域によって異なります)など行なっています。

2007年から開始し2012年までの4年間で、9都市20会場、143回開催し、約2,500人の自転車通勤者をサポートしました。

このアクションを通じて「バイシクルカルチャーの底上げ」と、モビリティシフトのきっかけになればと考えています。

ナイスライダー のすすめ

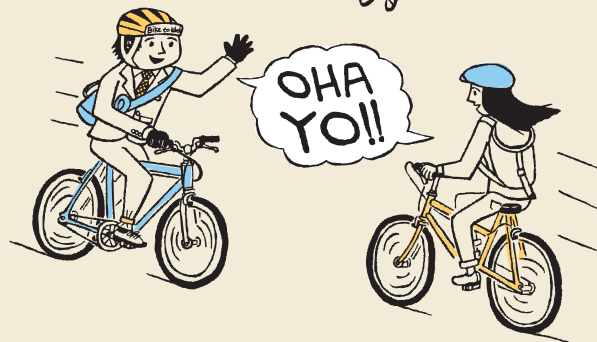
B.E.J.では、素敵な自転車乗りを「ナイスライダー」と呼びます。ナイスライダーで自転車通勤！あなたもナイスライダーになりませんか？

あいさつ
ナイス
Aisatsu nice

ナイスライダー・その1



朝は元気なあいさつから！道行く自転車仲間にも気軽にあいさつができるあなたはナイスライダー！

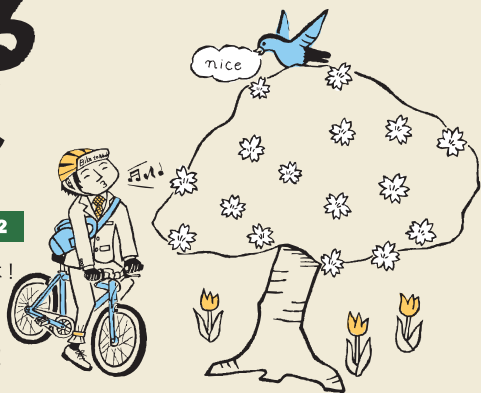


かんじる ナイス

Kanjiru nice

ナイスライダー・その2

自転車のスピードならではの！
季節のうつろいや
街の変化を感じられる
あなたはナイスライダー！



スタイル ナイス

style nice

ナイスライダー・その3

ヘルメット、グローブ、
メッセンジャーバッグ、
裾バンド……。おしゃれ
なグッズを身につける、
あなたはナイスライダー！

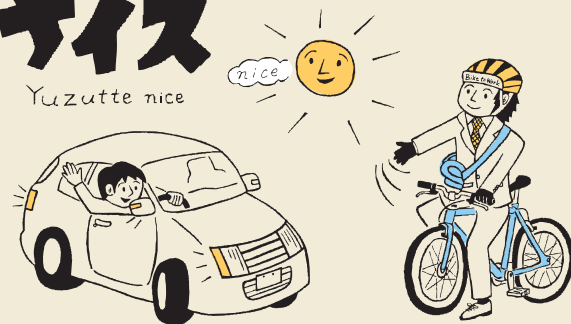


ゆずって ナイス

Yuzutte nice

ナイスライダー・その4

車や歩行者など、自分以外の移動者に
気配りできるあなたはナイスライダー！



すこやか ナイス

Sukoyaka nice

ナイスライダー・その5

通勤時間の運動で体も心も
スッキリ！健康的なあなたは
ナイスライダー！





アマナグループ

ビジュアルコミュニケーション事業

自転車通勤を制度化している会社
アマナグループにお話を伺いました。

お話：人事部長 花野博様
取材・文：杉浦邦俊
取材日：2013年6月27日

【アマナグループ HP : <http://amana.jp/>】

B.E.J：制度化の経緯を教えてください。

アマナ：制度化する前から自転車通勤する社員がいたようなので、会社として黙認するより、しっかりケアし「社員の多様性を認める」「ライフスタイルに対する強い意志を尊重する」という観点で2011年1月から6か月のパイロット運用を実施し、その後正式に制度化しました。

B.E.J：パイロット版での問題点や評価は？

アマナ：問題なくスムーズに制度化できました。

B.E.J：保険、駐輪場はどのような対応ですか？

アマナ：保険は民間の保険に加入することが条件の1つです。駐輪場は、駐車を駐輪スペースとして人数に応じて借りています。

B.E.J：通勤手当はどのようになっていますか？

アマナ：定期代分を全額支給しています。そのかわり民間保険費（年間 2,250 円）、駐輪場代（月 3,000 円）、電車で通勤する場合などは自己負担となります。

B.E.J：2013年6月現在、何名くらいが自転車通勤されていますか。

アマナ：24名（約700名中）です。今後もう少し多くなるかなと思います。

B.E.J：「ライフスタイルやこだわりを表現した自転車であること」という項目がユニークですね。

アマナ：仕事からワークスタイルやビジュアルへのこだわりを大切にしていますので（笑）。判断基準は各事業グループに一任しています。

<自転車通勤の許可条件>

- 損害保険への加入（対人保障：無制限／対物保障：500万円以上）
- ヘルメット着用
- 安全説明会の受講
- 駐輪場
- ライフスタイルやこだわりを表現した自転車であること

<誓約書内容>

- ・ 道路交通法などの交通安全に関する法令の遵守
- ・ 運転中のヘルメットの着用
- ・ 運転中の携帯電話使用の禁止
- ・ 傘差し運転の禁止
- ・ 飲酒運転および運転中の喫煙禁止
- ・ 違法駐輪（指定駐輪場以外での駐輪）禁止
- ・ 自転車通勤に関する会社ルールの遵守





パタゴニア

アウトドアブランド

オフィスはもちろん19の直営店でも自転車通勤をサポートしているパタゴニア。店舗での取り組みを中心に話を伺いました。

お話：パタゴニア日本支社環境ディレクター 篠健司様
取材・文：杉浦邦俊
取材日：2013年7月11日

【パタゴニアHP：<http://www.patagonia.com/jp>】

パタゴニア：1988年に日本支社ができた当時から自転車で通勤するスタッフがありました。「禁止」ではなくスタッフのライフスタイルをサポートするというスタンスですが、会社としても、スタッフの健康の維持、CO2の排出抑制などのメリットがあります。

さらに通勤やランチタイムに自転車やランニングで汗をかいた後、シャワーを浴びて仕事を始めることは仕事面でもプラスになっていると思います。

B.E.J：全国の直営店も同様ですか？

パタゴニア：そうです。ほとんどの店舗にシャワーが常設されています。

B.E.J：店舗により駐輪スペースが異なると思いますが？

パタゴニア：スペースに制約がでてしまう場合は、公共交通機関のアクセスが不便などの通勤環境の状況に応じて優先順位を設けています。スペースにもれた場合は各自が公共駐輪場などで対応すればOKです。通勤手当は定期代を全額支給していますので駐輪場は自費になります。

B.E.J：どのくらいの割合で自転車通勤されていますか。

パタゴニア：店舗により異なりますが各店舗2、3名以上はいるようです。自転車で保育施設に子供を預けて、そのまま通勤するスタッフも結構多いですよ。そのためチャイルドシート付き自転車も多いですよ(笑)

B.E.J：禁止だと一度戻らなければいけなくなるんですね。パタゴニア社内でBIKE TO WORKを開催したことがあると伺いました。

パタゴニア：アメリカ本社にはDrive Less Program（自動車に乗る距離を減らそう）という制度があり、自転車以外にもスケートボードなど人力による通勤などをサポートしています。イベントも盛んで年に一度、1週間のBIKE TO WORK WEEKを開催し、社員がBIKETO WORKした距離に応じて、自転車の普及に取り組む非営利団体に寄付をしています。今年はリノ（ネバダ州）配送センター社員が合計5000km走り、会社から35万円寄付しました。日本でも同様のイベントを開催したいと思っています。

<パタゴニアのBIKE TO WORK（アメリカの取り組み）>

店舗ごとにそれぞれ地域に密着した催しを開催しています。

その一例

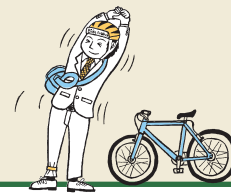
- ・自転車通勤の距離に応じて、スタッフによる地元自転車団体に寄付を行う。
- ・期間中に、無料コーヒーや朝食の提供
- ・バイクメーカーによる自転車点検
- ・安全クリニックの実施
- ・子供向け自転車教室





秋田市環境部

BIKE TO WORK の活動をしている、秋田市環境部 福田森彦さんにお話を伺いました。



お話：秋田市環境部 環境総務課
地球温暖化対策担当 福田森彦様
取材・文：佐々木泰作
取材日：2013年7月16日

※インタビューの全文は、B.E.J ホームページで公開しています。

B.E.J：BIKE TO WORK をはじめた経緯を教えてください。

福田さん：2008年にB.E.J 秋田支部が行なっている、BIKE TO WORKを知り、地球温暖化対策の推進に有効ではと考え、その活動の様子を見に行っただけが始まりです。BIKE TO WORKの活動では、飲み物などを配ったり、自転車のメンテナンスを行ったり、楽しく自転車通勤が行えるよう応援しており、こうした活動を通じて自転車利用の重要性を市民の方々に直接訴え、地球温暖化対策に貢献できるとの印象を受けたことから、B.E.Jと秋田市が「協働」することとなったものです。

B.E.J：市役所内で活動が広がっていますがどう思われますか？

福田さん：自転車通勤を推進することは、地球温暖化対策のほか、渋滞緩和や健康増進にも繋がることから、交通政策課や保健所等の関連課所室にも声をかけ、一緒にBIKE TO WORKの活動を行なうこととしたものです。BIKE TO WORKの活動は、毎月第4金曜日の「秋田市ノーマイカーデー」と併せて、BEJ秋田支部の方々と一緒に行なっており、さらには、そのBIKE TO WORKを行なう週を「エコ通勤ウィーク」と定め、市職員のエコ通勤(自転車、公共交通利用)の推進を行なっています。市職員が率先して自転車等によるエコ通勤をする姿勢が大切であると考えております。

B.E.J：環境部として自転車通勤のメリットをお聞かせ下さい。

福田さん：家庭から出るCO2は、全国平均でも3割以上が自家

用車から排出されています。車社会である本市では、この値はさらに大きいものとなっています。自転車通勤の推奨は、自家用車から自転車などへの交通手段の転換を促すこととなりますので、交通政策課や保健所の方々との連携によって、さらに幅の広い取り組みとなり、排出するCO2の削減が大きなものとなるよう目指しております。

B.E.J：市民の反応はありますか？

福田さん：先日行なったBIKE TO WORKの中で「先月も開催されてましたよね？」と声を掛けられることもあり、毎月同じ場所で開催することで、取り組みの認知度が徐々に高まっていることを感じております。

B.E.J：今後の目標をお聞かせ下さい。

福田さん：車社会と言われる秋田市では、環境に意識の高い方でも、自家用車から自転車への転換には大きな壁があるようです。BIKE TO WORKなどの活動を継続的に繰り返すことによって、比較的転換の容易な方々から、まずは自転車へとシフトしていただき、こうした流れを少しずつ大きなものとしてまいりたいと考えております。今後も様々なイベントを継続的に実施し、自転車通勤の方々ばかりでなく、多くの方々に呼びかけ、BIKE TO WORKの認知度を高め、秋田市内での自転車通勤者数の増加を目指していきたいと思っています。

サンフランシスコ BIKE TO WORK DAY レポート

特定非営利活動法人
バイシクルエコロジージャパン
杉浦邦俊 / 佐々木泰作

2013年5月9日、NPO法人
バイシクルエコロジージャパン
が自転車通勤応援アクション
を開始したきっかけである、
アメリカ西海岸サンフランシスコ
の「BIKE TO WORK DAY」
に参加してきました。



サンフランシスコの BIKE TO WORK DAY

「BIKE TO WORK DAY」は、SAN FRANCISCO BICYCLE
COALITION (以下SFBC)という、サンフランシスコの自転車
活用の促進をしてきた団体が毎年5月第2木曜日に開催する
20年以上の歴史を持つ啓蒙活動です。

「エナジーステーション」と呼ばれる補給場が、市内の自転車
通勤が多い場所に、朝の時間帯に16か所、夕方の時間帯は
10か所、設置されていました。

当日の朝は12か所から出発されるグループライドのアクショ
ンもありました。SFBCがいろいろな団体とパートナーシップ
を結び、より良い自転車環境を作り上げ、それを維持、ケア、
そしてより良くしていった結果だと思えます。



グループライドの風景

5月9日 AM 8:00 CASTRO

私たちはCASTRO地区をスタートし、5kmほど市街地
に向かうグループライドに参加しました。チームリーダー
はメトロポリタン交通委員会コミッショナーで、集合したの
は20名で男女10名ずつ。

集合時間とスタート地点を決めるだけのスタイルなので、
近所の人が集まりやすく、普段は単独の自転車通勤を、
グループライドで楽しもう！という趣旨が感じられました。

スタート後は、途中のエナジーステーションでゆっくり
コミュニケーションをとる人、そのまま会社に向かう人と、
決まった制約がないため参加しやすい一つの形だと思い
ました。

エナジーステーションの風景

AM 8:30 MID MARKET エナジーステーション

エナジーステーションは熱気に溢れていました。

「Happy Bike to Work Day!」とスタッフが明るく声をかけ、サコッシュ(肩掛けバック)を配り、テーブルにはコーヒー、水、スナックやフルーツが用意されていました。

「I BIKED TODAY!」と書いたステッカーを胸に貼り、時間があってもなくても、参加したという実感のある応援の仕方でした。ステーションにはBIKE DOCTARSと呼ばれる近所の自転車店からのボランティアスタッフがいて、シートの高さ調整や空気圧チェックなど無料点検を行っていました。



各エナジーステーションが自転車に乗っている人の感覚で、上手く配置されていることに気づかされました。

また、スタッフが楽しんで活動しているというのが印象的で、今回は約300人のボランティアスタッフが参加しました。

BIKE TO WORKはとにかく参加者もスタッフも楽しむ！日本でもあの笑顔を！



Bicycle Ecology Japan

バイシクル エコロジー ジャパン

バイシクル エコロジー ジャパンは、「自転車に乗るすべての人を応援する」ことをビジョンとしたNPO法人です。もう少し詳しく言うと、バイシクルカルチャーとエコロジーを融合したムーブメントを興すために設立しました。自転車を用いて「健康と安心、交通・都市デザイン、平和・地球環境の気づき」をテーマにしたアクションやイベントを行なっています。

【活動実績】

「BIKE TO WORK / バイクツーワーク」自転車通勤応援アクション
「チャリチャリ市」自転車市の開催
「バイシクルキッチン」自転車関係社グループ展示会
「サイクルスピードウェイジャパン」英国発レースの日本オーガナイズ
「バイシクルグッズフェスティバル」ハンドメイドや小規模ブランド展示会
「バイシクルデザインフェスティバル」思わず停めたくなる駐輪場のデザインコンペ
「+2°C コーストラインバイクライド」温暖化による海面上昇エリアを自転車ライド

【全国のB.E.J.】秋田/金沢/横浜/名古屋/高松/福岡

【事務所】東京都練馬区

【WEB】<http://www.bejapan.org/> 【MAIL】info@bejapan.org

発行：特定非営利活動法人バイシクルエコロジージャパン

製作：杉浦邦俊

取材協力：佐々木泰作

編集：noon design box

イラスト：スタダカミツ



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

この冊子は「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」から助成を受けています。

2013/9

rn project

通勤も、リンプロジェクト



交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。

リンプロジェクトカスタマーショップ

ウェア、カスク、バッグなど、
お手にとってご覧いただけます。

東京都台東区松が谷 1-2-3-1F

TEL : 03-3842-2883

販売元 (株) シャノア

www.rinproject.com

